

2023年度版 ロス対策年間チャートご利用いただいた皆様へ

この1年間の万引対策まことにお疲れ様でございました。
また、2023年度版ロス対策年間をご利用いただきありがとうございました。

この年間チャートは、皆様よりお寄せいただいた情報に基づいて作られております。今後さらにより良い内容にするために、皆様よりの月毎の「被害品情報」や「対策情報」をお待ちしております。

情報提供いただいた皆様には「最新のロス対策年間チャート」と「当機構の会報(万防時報)」をお送りいたします。

今後とも継続的な不明ロス対策をよろしくお願いします。

2023年4月25日

ロス対策年間チャート制作小委員会(2013年12月15日設置)
特定非営利活動法人 全国万引犯罪防止機構
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-2 書店会館 4階
TEL:03-5244-5612 FAX:03-5244-5613
問い合わせ: <https://www.manboukikou.jp/contact/>

士官たちの正義と信頼を基に作られたチャート(海図)の歴史秘話

近世以前にも海図はあったはずですが現存しているものはありません。それはある場所からある場所へ航海する方法を用心深く秘密にしていたためです。海図は「領土を増やすカギ」であり、「富への道」であるため門外不出の秘め事だったのです。そのため、海難事故が世界の各地で頻発し多くの船乗りたちの人命が失われ続けました。

16世紀から17世紀にかけて、東インド会社ではそれぞれ水路専門家を雇い、秘密の海図を作っていました。1795年にイギリス海軍の水路部員ダルリンプルの指導で、イギリス海軍では沿岸の測量がはじまり、こうして水路誌が生まれました。

その後、しばらくして、米国海軍海図測器廠(しょう)のモーリーが広範囲の海図作りの協力体制を提唱しようやく世界的な協力体制が築かれました。これにより各国の船の士官達が、航海日誌を積極的に送ってくれるようになったのです。モーリーはそのなかから資料を集め、整理して、海図の中に組み入れました。なお協力した航海士達にはモーリーからの心温まる礼状と海図のコピーを受け取りました。これによって海上交通が安全に早く目的地に達することが可能になったのです。米国海軍の海図には今でも「マシュー・フォンテン・モーリー中尉の調査に基づく」という銘があります。

出典:われらをめぐる海(ハヤカワ文庫 NF(5)) 文庫-1977/6

レイチェル・カースン(著)

ロス対策年間チャートも多くの店舗の方々の協力によって作られています。